

企業立地奨励条例による『立地奨励金・雇用奨励金』について

町では、企業の育成と誘致に必要な奨励措置等を講ずることにより産業の振興と雇用の拡大を図り、町民生活の安定向上に資することを目的に、固定資産の取得価額が一定以上の企業者に対し、立地奨励金・雇用奨励金を支給します。**（震災により被災した場合でも固定資産の取得価額が一定以上であれば対象となります。）**

◇立地奨励金

町内に事業所の新設、増設または移設を行った方で、**固定資産の取得価額が1,000万円以上である場合に最長で5年間の固定資産税相当額を交付します。**（ただし、納期内の完納がなかった場合は、交付額から納期内の完納がなかった固定資産税相当額を控除します。）

◇雇用奨励金

営業開始日（増設の場合は増設が完了した日）後3年において引き続き1年以上雇用している地元従業員1人につき10万円を交付します。（ただし、既に交付した雇用奨励金に係る地元従業員の人数は控除します。）

◇申請方法等

指定企業者申請書を提出していただき、指定企業者の指定を受けた後に次の申請期限までに奨励金の交付申請をしていただくことになります。

(1) 立地奨励金

交付対象期間内における各年度の固定資産税を完納した日から2月以内

(2) 雇用奨励金

営業開始後1年を経過した日から2月以内（以降3年目まで同様）

※対象となる事業や要件の確認、申請に必要な書類については、問い合わせください。

問い合わせ 産業振興課商工振興係 ☎46-1378

ひの 妃乃あんじ復興応援大使 無料ダンスレッスン（フラダンス）情報

日程	場所	時間等
12月2日(日)	①平成の森仮設住宅集会所 ②TERACO音楽スタジオ（廻館）	①9:00～9:40 ②10:30～11:50
12月6日(木)	ベイサイドアリーナ	19:00～20:20
12月7日(金)	TERACO音楽スタジオ（廻館）	19:00～20:20

※Tシャツ（長袖可）・飲み物・タオル等持参ください。
詳細は問い合わせください。

◆問い合わせ あんじダンスLesson事務局 ☎090-5619-5171

宮城県最低賃金の改定について

県内の事業場で働くすべての労働者（臨時、パートタイマー、アルバイト等を含む。）に適用される宮城県最低賃金は、次の金額に改定されました。

時間額 685円

効力発生日 平成24年10月19日(金)

問い合わせ
宮城労働局労働基準部賃金室
☎022-299-8841

■町内産農林水産物中の放射性セシウム測定結果について（単位：ベクレル/kg）

品目	採取日	測定値(検出下限値)	基準値	結果
ハウス こまつな	10月22日(月)	不検出(10未満)	100	基準を満たしています。
マサバ、ゴマサバ、ブリ、シロサケ	10月1日(月)～10月31日(水)	不検出(8.927未満)		

■町内産農林水産物の出荷制限・出荷自粛要請について（11月7日(水)現在）

県等による放射線検査を実施した結果、露地栽培の原木しいたけ、こしあぶら、イノシシ肉、クマ肉、1キログラム以上のマダラについて引き続き出荷制限が行われており、市場には流通していません。また、11月6日付けで**金華山以北の海域で漁獲されたクロダイ**においても出荷制限が指示されましたのでお知らせします。

問い合わせ 産業振興課 ☎46-1378

庄内の風 ⑦

友好町の山形県庄内町を紹介する情報コーナー

きただておおぜき 北楯大堰開削400年

11月1日(木)、庄内町狩川にある北館神社において、北楯大堰開削400年を記念する催しが開かれました。

今では日本でも有数の米どころとなっている庄内平野も、400年ほど前までは、水利に恵まれず、



見渡す限りの荒野原で、点在する池や沼の水を利用して田畑を耕作しているに過ぎませんでした。慶長6年(1601年)、狩

川城主となった北館大学利長が、「なんとか田んぼに水を引けば、人々の暮らしも豊かになるのでは」と10年の歳月をかけて計画、その後3年の年月をかけ、長さ32キロメートルに及ぶ水路を完成させました。その後、水路の周辺には次々に集落が生まれ、今日にいたるまで流域住民に多くの恵みをもたらしました。この大堰を切り開いた北館利長の労を称え、堰を「北楯大堰」と名付け、その偉業が今日まで称え継がれ、大切に守られてきています。



北楯大堰は、平成18年に農林水産省の日本の**疏水百選**に選ばれています。

※疏水…農業用に設けられた人工的な水路

復興応援大使 リレー通信 ⑥

各地で南三陸町の地域ブランドのPRや復興まちづくりの状況をお知らせいただいている南三陸町復興応援大使の皆さんの声をお届けする「復興応援大使リレー通信」を連載しています。今回は、イタリアでオペラ歌手として活躍している角南有紀さんです。

海外からもずっと想っています

歌をうたい、作詞・作曲するのが私の仕事ですが、南三陸町の皆様の前に立つ時にはこのすべてができなくなります。声が出なくなり、文章を書く手が止まります。その戸惑いがなんの役にも立たないことは充分承知の上、笑顔で歌えなくなってしまいます。そんなちっぽけな私をよそに、南三陸町の方々は本当に強くて温かい。以前訪れた際に「笑顔で歌い続けてください」と私が励まされてしまったほどです。

私はイタリア在住で、イタリアのロータリークラブからの寄付金を日本に送る橋渡しをして、日本のロータリークラブの皆さんの多大なる助けを借りて南三陸町で使うマイクロバスと車数台を購入していただきました。今年の夏には平成の森にコミュニティ図書館「魚竜館」を建設していただきました。

復興応援大使 すなみ ゆき 角南有紀さん (イタリア ナポリ)



イタリアは地震の怖さを知る国です。また海に囲まれていて、地形が日本によく似ています。そのため原発反対運動が起こり、電力は他国に頼っています。チャリティーコンサートを開くと、快く募金をしてくれます。現在の状況の正しい情報を海外に知らせること、そして日本の2011年3月11日を風化させないことが私の役目だと思っています。美しい南三陸町に、心からの笑顔で過ごせる日が一日も早く訪れますように。希望の町に海外からもたくさん観光客が訪れますように。遠く離れていてもずっと応援しています。小さくても必ず形にして、どこかで誰かの笑顔になりますように。大好きな東北を、ずっとずっと応援しています。また近いうちに「復興スタミナラーメン」を食べに行きます。